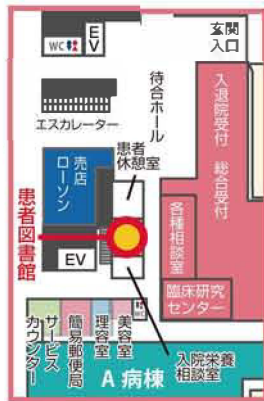


「ふらっと」お気軽にお越し下さい



患者図書室「ふらっと」をご存知ですか？場所は病院1階正面玄関から待合ホールを少し入った所、患者休憩室の隣です。閲覧コーナー、貸し出し、パソコン(2台設置)でのインターネット利用など、どなたでも利用できます。

蔵書は現在約3,800冊、医学書から一般文学、児童書まで幅広く取り揃えています。

8月には、新刊が50冊入りました。最新版の医療関係の本や、話題のベストセラー、患者さんから要望の多かった分野の本なども揃えましたのでぜひご利用下さい。

患者図書室 ふらっと

開室時間 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

NPO法人ビジネスサポートひかわの方々がクリニカルスキルアップセンターを見学

8月7日(木)にNPO法人ビジネスサポートひかわの方々が当院クリニカルスキルアップセンターを見学されました。当該法人は、地域経済の発展を願う民間有志によって組織され、地域産業振興のための民間支援団体として活動を行う法人で、活動の一環として産学官連携にも取り組まれています。今回の見学は当該法人の産学官連携における役員研修を目的として実施されました。センターの設備を使用した心肺蘇生の実習等を体験されました。参加者からは「最先端の機器を体験させていただいたが、驚きの連続だった。何か変革が起きる予感がする。」等感想をいただきました。



狩野センター長(左)の説明を受ける参加者の方々

「夢実現進学チャレンジセミナー」医学実習を行いました

「夢実現進学チャレンジセミナー」は島根県が主催する事業で、医学部や法学部等の難関大学・学部を志望する島根県内の高校2年生が合宿を行い、様々なプログラムを通じて夢実現への志を高めることを目的とし行っています。今年は8月4日(月)～7日(木)に開催され、期間中の8月6日(水)、理系の参加生徒31名が医学部を訪れ、「手術見学」等の医学実習を行いました。参加した生徒からは「進路をまだ迷っていましたが、医療への関心が高まった」等、医学部進学に向けての熱い感想が聞かれました。



ダ・ヴィンチ手術の見学



NEWS

CONTENTS

医療最前線

宮大工の概念をハイテクで具現化した骨折手術支援システムの開発

うちお ゆうじ
整形外科 診療科長 内尾 祐司

- ・内閣府主催 南海トラフ地震を想定した広域医療搬送訓練に参加
- ・「ふらっと」お気軽にお越し下さい
- ・NPO法人ビジネスサポートひかわの方々がクリニカルスキルアップセンターを見学
- ・「夢実現進学チャレンジセミナー」医学実習を行いました



宮大工の概念をハイテクで具現化した 骨折手術支援システムの開発

整形外科 診療科長 うちお ゆうじ
内尾 祐司

私たちは患者さんの骨から骨製ネジを術中に作製して骨折部を固定する技術を2005年のイノベーションジャパン(東京)に発表し、USBスペシャルアワード医療福祉部門賞を受賞しました(特許4737595号)。以来、この技術をさらに発展させ、2013年のイノベーションジャパン(東京)では、「宮大工の概念をハイテクで具現化した骨折手術支援システム」を発表しました。私たちが開発したこの技術は、術前・術中に得られた患者さんの画像データから3次元データを構築し、骨折部に正確に適合するための骨軟骨片を術中に作製するものです(図1、特願2014-6567)。3次元プリンターの骨版と考えるとくださったら結構です(図2)。

前述の骨製ネジを組み合わせることによって、宮大工が金属の釘やネジを使わず材木だけでお社を組み上げるのと同様に、金属を用いなくて関節内骨折を正確に治すことができます。しかも骨製ネジには異物反応はなく、抜釘も不要で、体内で時間とともに強度が増し最終的に同化します。

この技術は骨折だけではなく、人工関節再置換術や脊椎固定術において骨欠損部や固定部位の骨片作製にも有用で、これまで術者(人)の手作業で行っていた工程をこの装置によって正確に安全に作製することが可能となります。運動器に種々の疾患や障害をもたれた患者さんの日常生活動作の良好な回復と早期の社会復帰ができるよう願って日々本技術の開発を続けております。

問合せ先 整形外科 TEL (0853) 20-2385



図1. 3次元骨形成支援装置

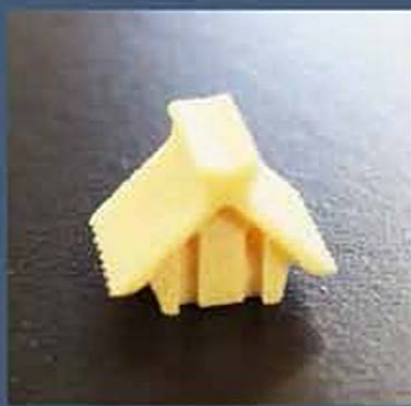
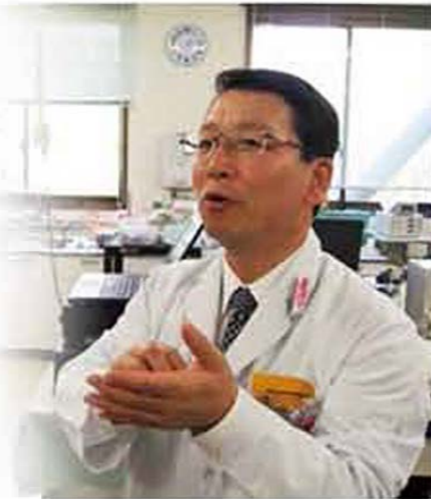


図2. 模擬骨で作製した“お社”



内閣府主催 南海トラフ地震を想定した 広域医療搬送訓練に参加

看護部医療情報担当 副看護師長 わたなべ かつとし
渡邊 克俊

8月29日(金)18時、南海トラフを震源とするM9クラスの地震が発生し、南九州の沿岸部に甚大な被害が出たとの想定で大分県、宮崎県及び鹿児島県からDMAT(災害派遣医療チーム)の派遣要請があり参加しました。

当院 DMAT は、広域災害救急医療情報システムにアクセスし、医療機関の被災状況を確認しながら陸路で広島空港に参集しました。我々は、非被災地の熊本空港へ陸上自衛隊大型輸送ヘリにて向かうよう指令を受け、持参した医療資機材を機内に搬入。約1時間半で熊本空港に到着し、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)統括本部の指令にて活動を開始しました。被災地から搬送された傷病者の応急処置と全身状態の安定化を図り、熊本市内の三次医療機関に搬送できるよう調整しました。

近未来に起きると予想されている東南海地震では大規模津波が想定されています。太平洋岸地域ではライフラインの遮断により診療機能が著しく低下するため、非被災地域からの迅速な医療支援と重症患者の広域医療搬送が救命につながることを再確認しました。



左から土井薬剤師、岩田看護師長、石原薬剤師、渡邊副看護師長、木谷医師



SCUでトリアージを行なう鳥根大学DMAT



お知らせ

土曜日のCT検査を開始しました

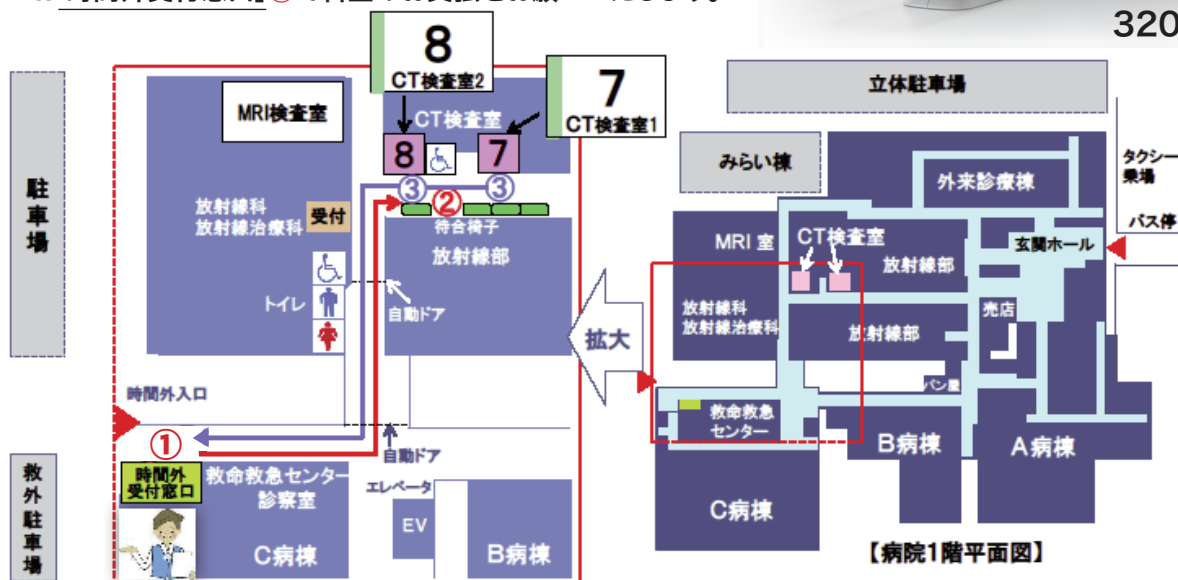
当院放射線部CT検査室では平成26年9月6日から土曜日午前中の検査を始めました。既にMR検査では本年1月より土曜日検査を開始し患者さんからは「仕事を休む必要がなく助かる。」等の高い評価をいただいております。

現有のCT装置は最新型で0.35秒のスピードでX線管球が一回転し、同時に320スライスの画像を得ることができます。短時間撮像が可能となったことで高い質の画像が提供できます。また、画像診断においても高い専門知識を有した放射線専門医が当たります。土曜日は待合廊下周辺でも人通りが少ない状態で検査が受けられる利点もあります。なお、土曜日は緊急時に対応可能な医師の数も少なく医療安全の観点から単純検査に限定させていただきますことをご了承ください。今後も安全安心な検査につとめ、質の高い検査情報がフィードバックできるよう努めてまいります。

土曜日検査は、下記の時間外受付(救命救急センター隣)で受付を行い、その後、放射線部CT検査室にお越しいただくこととなりますのでご注意ください。

土曜日にCT検査を予約されている患者さんへ

1. 「時間外受付窓口」①で受付をして下さい。
2. CT検査室の前の「待合椅子」②に掛けてお待ち下さい。
3. CT検査室1 ⑦ または、CT検査室2 ⑧ から技師が呼びいたします。③
4. 「時間外受付窓口」①で料金のお支払をお願いいたします。



問合せ先 放射線部CT検査室 TEL:0853-23-2111(代) 内線:6364





島大病院ニュース
2014年10月

お知らせ

島大病院では 幅広い疾患領域に対する 治験を実施しています!

当院は、治験推進施設として、内科・皮膚科・外科・泌尿器科・精神科神経科・眼科・麻酔科など、様々な領域の治験を実施しています。

治験に関する情報は、ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/tiken/toppage> で公開していますが、創薬ボランティア(治験にご協力いただける方)を募集している治験について、一部、ご紹介いたします。



～内科領域～

試験名	対象疾患	診療科	主な選択基準	主な除外基準	治験参加期間	募集期間(予定)
糖尿病性腎症患者を対象とした第Ⅲ相試験	糖尿病性腎症	内分泌代謝内科	<input type="checkbox"/> 18歳～85歳 <input type="checkbox"/> 血糖降下薬、ACEI又はARBの投与を受けている患者 <input type="checkbox"/> 推定GFRが25-75 mL/分/1.73 m ² , UACR が300 mg/g 以上 5000mg/g未満、血清Alb 3.0g/dL以上	<input type="checkbox"/> 中等度以上の浮腫 <input type="checkbox"/> 心不全、肺高血圧症の既往 <input type="checkbox"/> 閉経前女性	2017年4月30日まで(予定)	2015年5月末まで
PPI抵抗性逆流性食道炎患者を対象としたE3810の第Ⅲ相試験	PPI抵抗性逆流性食道炎	消化器内科	<input type="checkbox"/> 20歳以上 <input type="checkbox"/> 内視鏡検査で粘膜傷害(びらん、潰瘍)を有する逆流性食道炎と診断された患者 <input type="checkbox"/> プロトンポンプ阻害剤の常用量(1日1回8週間)に抵抗性の患者	<input type="checkbox"/> 穿孔、食道狭窄、幽門狭窄、食道静脈瘤などのため、上部消化管外科的治療の対象と考えられる患者。 <input type="checkbox"/> 重篤な心疾患、脳血管障害、血液疾患、腎疾患、肝疾患、悪性腫瘍等を合併	治療期8週間および維持療法期間52週間	2015年2月末まで

～癌領域～

試験名	対象疾患	診療科	主な選択基準	主な除外基準	治験参加期間	募集期間(予定)
ITK-1の前立腺癌に対するプラセボ対照第3相二重盲検比較試験	前立腺癌	泌尿器科	<input type="checkbox"/> 20歳以上85歳未満 <input type="checkbox"/> HLA-A24陽性 <input type="checkbox"/> 前立腺癌の前治療において以下を全て満たす 1) 去勢抵抗性 2) 前立腺癌に対してドセタキセル治療実施後に血清PSA値、CT/MRIまたは骨シンチ画像診断にて増悪 <input type="checkbox"/> PSが0または1	<input type="checkbox"/> ドセタキセル以外のタキサン系抗癌剤を使用 <input type="checkbox"/> 重篤な合併症 <input type="checkbox"/> 活動性の重複癌を有する <input type="checkbox"/> 精神症状で同意能力を欠く	約74週間(投与期間70週)	2015年7月末まで

該当する患者さんがおられましたら、ぜひ、当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

問合せ先 臨床研究センター治験管理部門

TEL : 0853-20-2492 FAX : 0853-20-2495 E-mail : tiken@med.shimane-u.ac.jp



平成26年10月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

